ブルース・リー？

ブルース・リー生誕60周年記念映画

フィスト・オブ・フューリー

～復活！ドラゴン怒りの鉄拳～

石天龍(セキ・テンリュウ)　楊麗青（シンシア・カーン）　午馬（ウー・マ）　林威（ラム・ウェイ）

製作：新東山電影電視制作有限公司／製作協力：染野企業電影工作室／吉星影片公司／製作総指揮：呉建中／プロデューサー：叢子貴、染野行雄、呉家駒、蒋傑

脚本・監督：ハワード・チョウ　撮影：林清雄／武術指導：曹栄／音楽：曾廣華／日本版主題歌：角田信朗 & ドラゴン・エンジェル／サントラ盤：キングレコード

配給・宣伝：ベンテンエンタテインメント／配給協力：東北新社／協力：ジャパンデジタルコンテンツ/中文産業/バンタン芸術学院/香港政府観光局

2002年/中国(香港)映画/カラー/35mm/ビスタサイズ/モノラル/1時間32分　原題：重振精武門（英題：Return of Dragon）/字幕翻訳：水谷美津夫

公式HP：http://www.fist-of-fury.com

Don't think. Feel ! =「考えるな ! 感じろ !」

不世出のスーパースター、ブルース・リーの生誕６０周年記念作品、それが『フィスト・オブ・フューリー～復活！ドラゴン怒りの鉄拳～』だぁ！

わずか5本の主演作品を残し、32才の生涯を駆け抜けた不世出のスーパースター、ブルース・リー。彼の主演作中、最も人気の高い「ドラゴン怒りの鉄拳」の続編が、「フィスト・オブ・フューリー ～復活！ドラゴン怒りの鉄拳～」なのである。

1900年に実在した武術道場の最高峰・精武門。その門下生・陳真（チェン・チェン）が愛と理想の為、無法な外国勢力に対して闘いを挑み、自ら銃弾の中へ身を投じた…故ブルース・リー主演「ドラゴン怒りの鉄拳」(1972) のラストシーンである。ところが、その陳真は生きていた！と言うとんでもない設定から始まる本作品は、数あるリメイク、続編の中でも唯一、夫人も認めた生誕60周年記念映画。気になる主演には、ブルース・リーの再来、石天龍（セキ・テン・リュウ）が大抜擢。共演は、香港アクション女優Ｎo.1のシンシア・カーン。他にジャッキー・チェン映画の常連、ウー・マやラム・ウェイなど豪華配役陣が脇を固める。

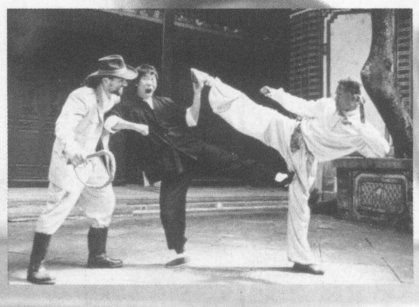
凄まじいまでのマーシャル・アクションと情感を豊かに描いたのはアメリカ在住のハワード・チョウ。ブルース・リーが全盛の70年代を彷彿とさせるリアル・アクションはワイヤーアクションやＣＧ処理全盛の映画界の中で、実に新鮮！プロデューサーは「水滸伝」「三国志・諸葛孔明」など中国本土との合作で日本でも知られる蒋傑。武術指導にジャッキー・チェン「ナイス・ガイ」で台湾金馬奨受賞、ハリウッド進出がウワサされる曹栄。最高の布陣による大いなるブルース・リーへのオマージュが本作品なのである。

ブルース・リーの生まれ変わり？！ 石天龍とは何者だ！

本作品でスクリーン・デビューを果たすのは、故ブルース・リーが創設した拳法「截拳道」(ジークンドー) の後継者、石天龍。彼は「中国国際ジークンドー連盟」の設立者で門下生は20万人を越えるという本格派。さらに北京警察特殊部隊出身という経歴は、実戦で鍛え上げられた格闘家であることを物語る。ブルース・リーから直接指導を受けた（当人曰く：夢の中で）最後の"ブルース・リー・ファイター"、石天龍。香港映画界からの度重なるラブコールと始祖ブルース・リーの生誕60周年に応えてその秘技がいよいよベールを脱ぐ！

「ドラゴン怒りの鉄拳」はリメイクの宝庫

もともと"精武門"と設立者ホウ・ユンチャは実在で、映画、テレビは何度も題材として扱ってきている。ブルース・リーが演じた陳真は架空の人物だが、「ドラゴン怒りの鉄拳」以降伝説のヒーローとなり数々のリメイクや続編が製作された。ジャッキー・チェンと本家女優ノラ・ミャオが出演した「レッド・ドラゴン」（原題：新精武門）やソックリさん俳優ブルース・ライが陳真の弟役を演じる「精武門続集」、ジェット・リーの「フィスト・オブ・レジェンド／怒りの鉄拳」、他にもドニー・イェンやブルース・リャン、チャウ・シンチー主演作品等枚挙に暇がない。しかし、生誕60周年を記念して製作された本作品が、決定版として長く記憶されることは間違いない。



日本版主題歌を Ｋ－１ファイターの角田信朗が歌う

やはり、ブルース・リーに魅せられた男がここにもいた。その名も格闘家・Ｋ－１ファイターの角田信朗。当時オリジナル「ドラゴン怒りの鉄拳」のメインテーマを英語で歌いたいがために猛勉強し、教員免許を収得してしまう程の熱の入りよう。今回、長年の夢が叶って遂にレコーディング。本作品のキャンペーンガール(ドラゴン・エンジェル) を従え、熱唱。4月3日キングレコードより発売。

【スタッフ】
製作総指揮：呉建中
プロデューサー：叢子貴、染野行雄、呉家駒、蒋傑
脚本・監督：ハワード・チョウ
撮影：林清雄
武術指導：曹栄
音楽：曽廣華

【キャスト】
石天龍(セキ・テンリュウ)
楊麗青（シンシア・カーン）
午馬（ウー・マ）
林威（ラム・ウェイ）

製作：新東山電影電視制作有限公司
製作協力：染野企業電影工作室、吉星影片公司

日本版主題歌：角田信朗 & ドラゴン・エンジェル／サントラ盤：キングレコード／配給・宣伝：ベンテンエンタテインメント
配給協力：東北新社／協力：ジャパンデジタルコンテンツ、中文産業、バンタン芸術学院、香港政府観光局
2002年/中国(香港)映画/カラー/35mm/ビスタサイズ/モノラル/1時間32分/原題：重振精武門（英題：Return of Dragon）/字幕翻訳：水谷美津夫

http://www.fist-of-fury.com

G.W.衝撃の世界先行レイトショー

特製ポストカード付き（先着限定）前売鑑賞券￥1,500（税込）好評発売中
●当日料金（税込）：一般￥1,800、大・高校生￥1,500

4/20(土)より 連日 20:50～
池袋駅西口・東武隣接　メトロポリタンプラザ8F
シネ・リーブル池袋
CINE LIBRE IKEBUKURO
03(3590)2126

4/27(土)より 連日 20:50～
梅田スカイビル（空中庭園）タワーイースト3F
シネ・リーブル梅田
CINE LIBRE UMEDA
06(6440)5930